



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER 6

仙台文学館

学芸室 三條 望さん



冬になりますと、次年度の展示の準備が本格化します。私がいま担当しているのは、仙台文学館初代館長で、劇作家・小説家として多くの作品を残した井上ひさしの展示です。膨大な量の直筆資料を、どのような切り口で紹介していけば、面白さが伝わるのか、頭を悩ませています。楽しいのは、プロットや人物表のような創作中の資料を読むことで、作者の頭をのぞき見することができる点ですね。元々まったく

違う物語だったものが、何度も書き直されて、ようやく完成台本に近づくものもあれば、一度組み立てた構成をまるっきり反故にしたものもあり、「遅筆」の裏側にある苦闘の様子をうかがい知ることができます。一方、そんな様子を想像しながら読んでいる私も、展示のアイデアが思い浮かばず、うんうんうなっています。そんなときに落ち着ける場所は、書庫です。レファレンス業務や展示に必要な資料を探すために入ることが多いのですが、ときには息抜きに、興味の惹かれるまま本を開いてみることも。それが展示のヒントになる、というマジックが起こることがあるのが、また不思議ですね。



どんな展示になるか
お楽しみに

これからのイベント 2018年12月8日(土)～2019年3月31日(日) 企画展「資料が伝える物語 2013年以降の新収資料から」(II期)



SMMAとは

知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

SMMA イベント情報

ミュージアムユニバース
すてき・ふしぎ・おもしろい
2018年12月14日(金)～16日(日)
せんだいメディアテーク 入場無料

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局

SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるおきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならずはもちろん、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。 www.smma.jp

発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)
電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp
編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2018年11月21日 掲載した記事・情報は発行日の段階のものです。
この紙はリサイクルできます

2018冬号 見験楽学 旬の見験楽学便



食にまつわるエトセトラ
あったか
ミュージアム鍋



ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT 東北大学史料館

東北大学の様々な資料を収集・保存・公開しています。大正期に設計された建物そのものが登録有形文化財として必見。かつて留学生として在学していた魯迅にまつわる常設展や、季節による企画展などの貴重な資料を無料で見学できます。「都市景観大賞」特別賞を受賞した片平キャンパス地区は、歴史的建造物が立ち並び、保存樹木や並木に恵まれた憩いの場でもあります。史料館から歩いてすぐ、東北大生協が運営するショップや食堂、レストランは一般客でも入店できますので、ぜひ散策を楽しんでみてください。



〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学片平キャンパス内
☎ 022-217-5040
🕒 10:00～17:00(最終入館16:30まで)
📅 土曜・日曜・祝日・夏期休業日
👤 年末年始
🆓 入館無料

さくらショップ

ホットケースに入った温かいお弁当やパンなどの食品から書籍、文具、モバイル通信機器まで幅広い品ぞろえが特徴。お菓子やビール、ワイン、カレーなど東北大学オリジナルの記念グッズや史料館のガイドブックも購入可能。小田和正作詞作曲の校友歌「緑の丘」のCDは実店舗ではここでしか購入できないアイテムです。



▲「川内第2食堂 普通カレー」378円
🕒 8:30～20:30 (土曜は11:00～14:00)
📅 日曜



さくらキッチン



ラーメンやうどんなどの麺類カレーや丼といったご飯ものはもちろん、サラダバーや選べる惣菜などをリーズナブルな価格で味わえます。季節の食材を取り入れ、栄養のバランスが考えられたメニューなので、毎日足を運んでも飽きることなく楽しめます。



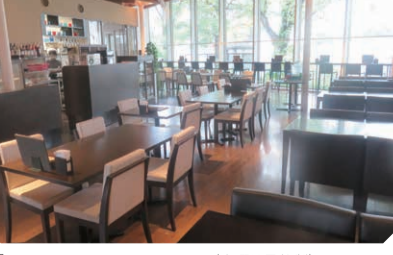
▲「野菜たっぷり 総代カレー(中)」380円
🕒 8:00～20:00 (土曜は11:00～13:30)
📅 日曜

レストラン萩

落ち着いた雰囲気でお食事が楽しめるレストランでは、パスタや宮城野ポークやみちのく鶏のグリルなどの肉料理を中心に提供。東北大学オリジナルのワインやビールを楽しむこともできます。ディナータイムには日本酒またはビール1杯に小鉢5品、ライス、サラダ、スープが付いた晩酌セット(1,700円)も。



▲「hagiナポリタン(サラダ・スープ付)」750円



🕒 11:00～14:00、17:00～21:00(土曜は予約制)
📅 日曜



伊東 豊雄

(1941～)

東京大学工学部建築学科卒業後、菊竹清訓の事務所を経て1971年に独立。アーバンロボット(後に伊東豊雄建築設計事務所)を設立。国内外の商業施設や公共建築を数多く手がけ、受賞歴も多数。近年の作品はパロック・インターナショナル・ミュージアム・プエブラ(メキシコ)、台中国家歌劇院(台湾)など。



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

世界を代表する建築家の「生きている建築」

2013年建築界のノーベル賞といわれるプリツカー建築賞を受賞し、名実ともに世界的な建築家として名を馳せる伊東豊雄さん。自身で「転機となった建築」と語るのが2001年に開館したせんだいメディアテーク(以下smt)です。6枚の薄い床を13本のチューブが支え、壁がほとんどない空間は動的。定禅寺通りのケヤキ並木を映す、ガラス張りの明るく開放的な空間で使う人たちが自由に活動できる環境づくりを実現しました。以降、これまで近代建築で重視されてきた機能性に固執せず、周囲の環境、自然との関係を大切に作品で人々を魅了し続けています。



せんだいメディアテーク南側のガラス壁面はダブル・スキンという二重構造。屋上の開口部の開け閉めで放熱・蓄熱両方の効果を発揮

震災復興から見えた一緒に作りあげていく建築のカタチ

開館前から交流のあるsmtスタッフは「伊東さんは開館当時も今も変わらず、若い建築家たちと一緒に、これからの建築のあり方を追い求める方」と話します。東日本大震災発災後は早い段階で事務所スタッフとsmtに駆けつけた伊東さん。建築家は何かをできるかを問い、仮設住宅での生活を強いられた人たちが集って、語り合い、心の安らぎを得られる集会所として「みんなの家」を各所に作りました。作る側のエゴではなく誰のために、何のためにあるものかを一緒に考え、その土地でしかできない建築が、これからの建築の指針となっていくのかもしれない。



「みんなの家」第1号として2011年10月福田町南の仮設住宅に建築した「宮城野区みんなの家」。現在は岡田地区の新浜に移設された

ここでもっと知る!

せんだいメディアテーク
〒980-8577 仙台市青葉区春日町2-1
☎ 022-713-3171
🕒 9:00～22:00(施設により異なる)
📅 第4木曜(12月を除く)
🆓 入館無料

食にまつわるエトセトラ あったか ミュージアム鍋

冬到来!寒いと恋しくなってくるのが、体を芯からほっこりあたためてくれるお鍋。そんな冬の定番グルメ・鍋の具材にちなんだ SMMA 各館の展示や活動をホットにお届け。なるほど!な情報満載の SMMA 特製ミュージアム鍋をどうぞご賞味あれ。

ねぎ

仙台定番のねぎと言えば「曲がりねぎ」。一度真っすぐに育てたねぎを掘り起こし、傾斜をつけた畝(うね)に再度植えてわざと曲げるという手間をかけることによって、甘みが増しよりおいしくなります。小学校の先生や地域の方々が作成した教材映像を集めた「せんだい教材映像アーカイブ」では曲がりねぎの栽培過程や作り手の工夫や努力を紹介する映像も見る事ができます。せんだいメディアテークHPの「図書館をつかう>教材ライブラリー>せんだい教材映像アーカイブ」からどうぞ。



せんだいメディアテーク
 仙台市青葉区春日町2-1
 ☎ 022-713-3171 開 9:00~22:00(施設により異なる)
 休 第4木曜(12月を除く)
 入館無料
 これからのイベント 11月3日(土)~12月28日(金) 展示会「ヒスロム 仮設するヒト」 *11月22日は休館です

きのこ

ある特定の昆虫に特定の菌類が寄生したきのこが冬虫夏草。冬から夏にかけて虫が草へと姿を変える不思議な現象は未だ説明されていない謎がいっぱいです。中国では滋養強壮、咳止めに薬効を持つ漢方薬として重宝されてきました。博物館ではツクツクボウシタケやハナサナギタケなど71種86点を収蔵。東北大学植物園でもコレクションされており、多数の標本を見学することができます。



東北大学総合学術博物館
 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 ☎ 022-795-6767 開 10:00~16:00
 休 月曜(祝日の場合は翌日)
 入館一般150円、小・中学生80円

写真は商家の店先をミニ再現したコーナーで展示している、大正~昭和初期に使用されていた味噌の樽や醤油の徳利。味噌は枡で量り売りされ、醤油は客が使うぶんだけ店の屋号が入った徳利に入れて販売していました。仙台味噌をはじめ、古くから醸造業が盛んだった仙台。地場産の味で鍋を楽しんでみませんか?

仙台市歴史民俗資料館
 仙台市宮城野区五輪1-3-7
 ☎ 022-295-3956 開 9:00~16:45(入館は~16:15)
 休 月曜(祝日の場合は翌日)、第4木曜
 入館一般240円、高校生180円、小・中学生120円
 これからのイベント 11月17日(土)~4月14日(日) 特別展「コメどころ仙台~コメの生産と消費の歴史~」



白菜

仙台伝統野菜として近年再び脚光を浴びているのが「仙台白菜」。みずみずしくやわらかい歯ごたえと甘さが評判を呼び、昭和初期に仙台ブランドとして一世を風靡。貨車による速達輸送を実現させ、全国の市場へと出荷されていました。『せんだい市史通信 第24号』(仙台市博物館市史編さん室、平成23年1月発行)では全国を席捲した「仙台白菜」について詳しく紹介。バックナンバーは博物館のホームページ内「仙台市史」のページから閲覧することができます。



仙台市博物館
 仙台市青葉区川内26
 ☎ 022-225-3074 開 9:00~16:45(入館は~16:15)
 休 月曜(祝日・振替休日の場合は翌平日)
 入館一般・大学生460円、高校生230円、小・中学生110円
 ※特別展は別途
 これからのイベント 10月26日(金)~12月9日(日) 特別展「戊辰戦争150年」

肉

縄文人の主食は木の実でしたが、シカやイノシシといった動物も獲って生活していました。約4000年前の縄文ムラ・山田上ノ台遺跡を保存・活用する縄文の森広場では動物を獲るための落とし穴や矢の先につけた鋭い石鏃(せきぞく)など、狩猟の営みが分かる資料を展示。黒曜石をシカの角で割る石器作り体験(予約不要・100円)も行っています。



仙台市縄文の森広場
 仙台市太白区山田上ノ台町10-1
 ☎ 022-307-5665
 開 9:00~16:45(入館は~16:15) 休 月曜(祝日の場合は翌平日)、第4木曜
 入館一般200円、高校生150円、小・中学生100円
 これからのイベント 12月1日(土)~2月11日(月) 「蔵王山麓の縄文ムラ-蔵王町谷地遺跡-」(仮)

エビ

あぜ道に穴を開けて田んぼの水を抜いてしまうなどの被害を及ぼす農家の天敵・アメリカザリガニ。増え続けるザリガニをかつては食べていたという地元の人をきっかけに、交流館では毎年「食べられる生き物を探しに行くツアー」を開催。ザリガニやドジョウ、イナゴなどの生き物を探しながら、東部沿岸地域の豊かな自然を散策できる体験型プログラムです。地域ならではの大切にしていきたい資源を再発見してみてください。

これからのイベント 9月4日(火)~1月14日(月) せんだい3.11メモリアル交流館を囲む風土展#03「竹であそぶ」 1月22日(火)~4月14日(日) 3.11現場の真実×心の真実「しかし、下水は止められない(仮)」

にんじん

にんじんを食べる動物と聞いて思い浮かべるのはウマやウサギだと思いますが、セルコホーム ズーパラダイス八木山では、アフリカゾウも毎日食べています。その量1頭当たり1日約10kgというから驚き!園内のふれあいの丘では毎日13:10からウサギのえさやり体験(1回100円)も開催中。にんじんを自分の手から与えることができます。



セルコホーム ズーパラダイス八木山
 仙台市太白区八木山本町1-43
 ☎ 022-229-0631
 開 9:00~16:00(入館は~15:00) *3~10月は~16:45(入館は~16:00)
 休 月曜(祝日・振替休日の場合は翌平日)
 入館一般480円、小・中学生120円

これからのイベント 1月2日(水)・3日(木) 正月開園 10:00~16:00 1~2月の毎週土曜日 飼育員による動物のおはなし

魚

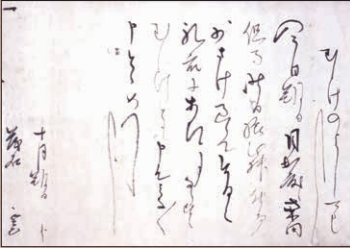
世界三大漁場に数えられる三陸沖の恩恵を受け、全国屈指の漁獲量を誇る宮城のさまざまな魚介類を展示する「大漁 宝のうみ」コーナーに注目!マサバやギンザケ、エゾイソアイナメ(どんこ)など、三陸の海が食材の宝庫であることが見て感じられます。3月30日まではコーナー内でミニ展示「松島手樽漁港」を開催。身近な海の生き物に目を向けてみてください。



仙台商みの杜水族館
 仙台市宮城野区中野4-6
 ☎ 022-355-2222
 開 9:00~17:30(季節によって異なる) 休 無休
 入館一般2100円、中・高校生・シニア1600円、小学生1100円

二日酔いにはご注意ください

客人をもてなす献立を自ら考え、狩りや漁で獲った鳥や魚を贈り物として贈答するなど食に対してこだわりを持っていたという資料が数多く残る伊達政宗。食べること同様、お酒も大好きでしたがお酒による失敗談が多数あります。仙台市博物館蔵の伊達政宗書状の中にはお酒を飲みすぎた政宗が虫気(腹痛)と仮病を使って、月初めの家臣たちへの面会を断るよう指示する内容も。あったかお鍋にはお酒もすすみますが、飲みすぎにはご注意ください!



▲伊達政宗書状 茂石(茂庭石見守綱元)宛 (年未詳)10月1日付 仙台市博物館蔵 ※年末年始の休館日については各施設へお問い合わせください。

